

ドル円トレード実例

アセンダント 山中康司

方向性の決定

- 日米欧3極の金融政策
 - 米国：引締 12月の利上げ
 - 日本：緩和 9月にイールドカーブコントロールを追加
 - 欧州：緩和 12月のQE延長を視野
- 金利差的にはドルが買われてもおかしくはないが、他の材料がドル買いを阻んでいる
 - 需給
 - イベントリスク

大統領選前のコンセンサス

- 世論調査

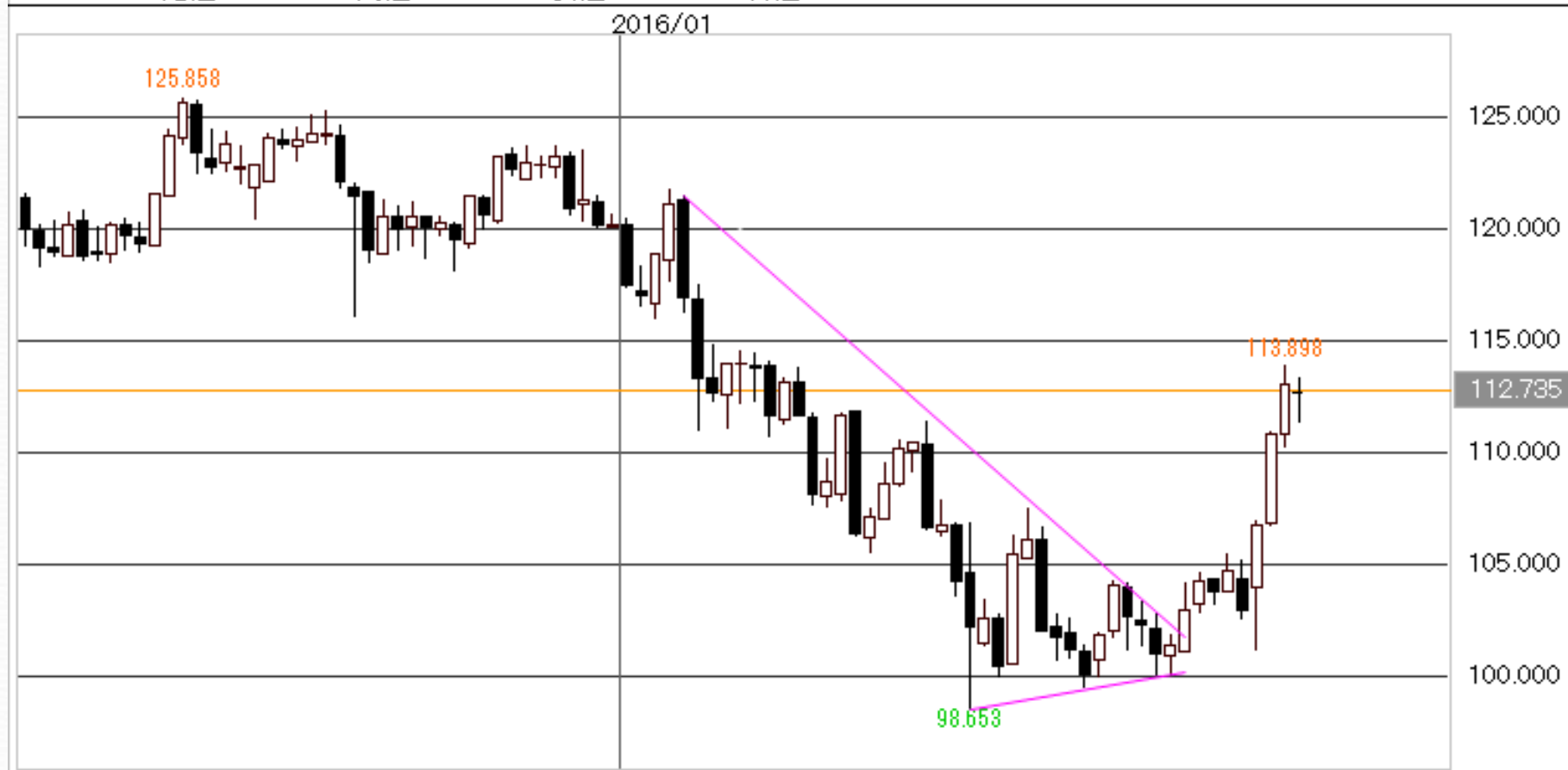
- クリントン候補が一貫してリード。投票日直前のメール問題で差は縮まったものの変化は見られなかった

- 市場のコンセンサス

- メインシナリオ クリントン勝利＝リスクオン
- リスクシナリオ トランプ勝利＝リスクオフ

長期テクニカル

2016/11/27 始値:112.735 高値:113.339 安値:111.353 終値:112.735



短期テクニカル



前日までの取引

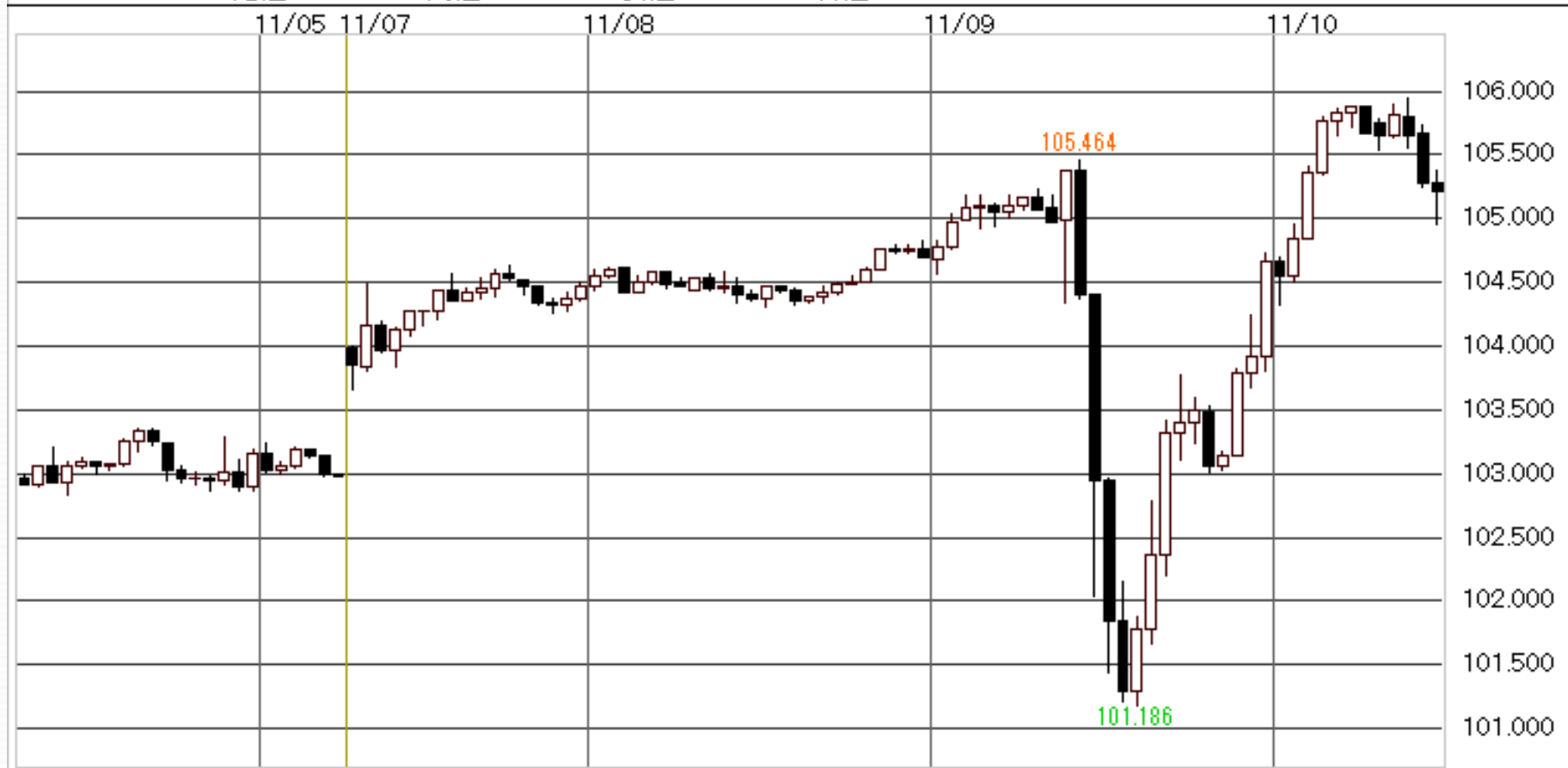
- 10月31日 13:04 104.801で新規売り
- 11月02日 08:11 104.046で決済
- 11月07日 08:43 104.450で新規売り
- この状態で大統領選に臨むことを決定
 - 直前の取引の利益を含めればコストは105.960
 - クリントン勝利でもドル高は限定的との読み

10/31~11/03 60分足



11/04~11/09 60分足

2016/11/30 16:00 始値:112.756 高値:112.795 安値:112.625 終値:112.648



当日昼過ぎまでの取引

- トランプ優勢のヘッドラインとともにドル売りに
- 11月09日 11:24 102.269で決済
- 一波としては売られすぎとの判断
- 11月09日 13:24 101.904で新規買い
- 100円割れを意識
- 11月09日 13:54 101.391で決済(ストップ)
- 途転ショート(軽めの売りポジション)

当日夕方～翌日の取引

- 11月9日 16:54 103.027でナンピン売り
- ここまで考えたことは、どこかでトランプリスクが再燃し、再びドル売りの流れに回帰するのではないか
- 平均コストは102.209、ここまでの利益を含めると105.387
- 11月10日 14:05 105.61で決済(ストップ)
- 11月月中の全ての利益が消える

10日～18日の取引

- 11月10日 15:07 105.256で新規買い
- 11月11日 10:06 106.748で追撃買い
- 11月14日 09:36 107.063で追撃買い
- 11月15日 09:49 107.805で追撃買い
- 11月15日 22:30 108.560で追撃買い

- 11月16日 08:44 109.084で一部決済
- 11月17日 15:30 109.337で一部決済
- 11月18日 22:49 110.250で残り決済

11/10~11/15 60分足



11/16~11/21 60分足



ポンド円のラッキーな取引

- 10月6日 12:08 131.731で新規売り
- 10月7日 08:08 125.00で一部決済
- 10月7日 08:08 122.55で残り決済
- 通常ポジションを取ると同時にOCOで利食いと損切りの決済注文を置くが、当初は利食いをかなり離している
- 偶然、離して置いた利食いがついたラッキーな例

10/04~10/07 60分足

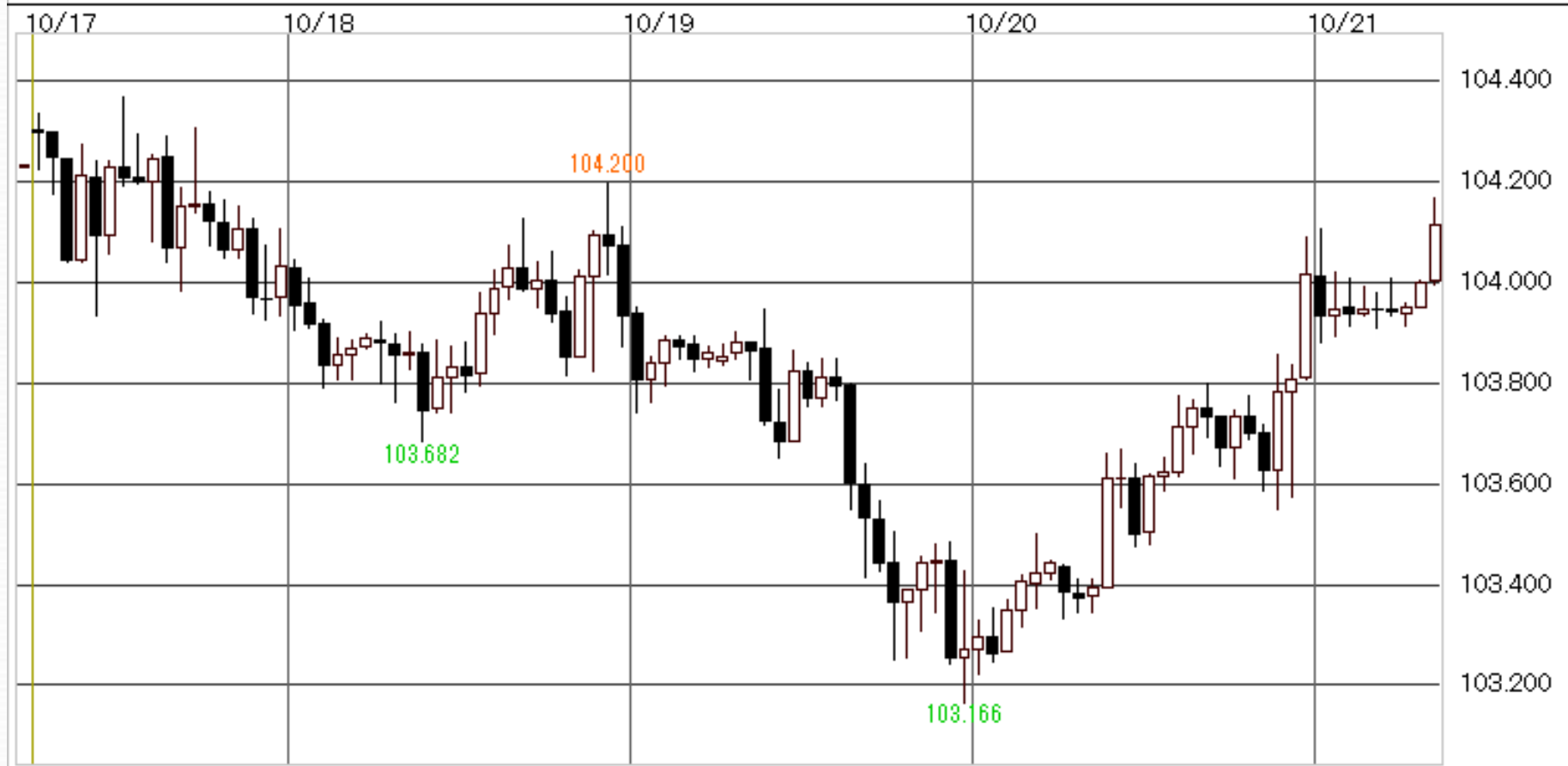


静かな時の取引例

- 10月17日 08:07 104.174で新規買い
- 10月17日 12:05 104.350で決済
- 10月18日 15:09 104.038で新規売り
- 10月19日 08:20 103.818で追撃売り
- 10月19日 16:27 103.464で決済
- 10月24日 16:31 103.857で新規売り
- 10月25日 19:43 104.558でナンピン売り
- 10月27日 07:57 104.561で決済(ストップ)

10/17~10/20 60分足

2016/11/30 17:00 始値:112.728 高値:112.882 安値:112.656 終値:112.782



10/21~10/27 60分足

2016/11/30 17:00 始値:112.728 高値:112.882 安値:112.656 終値:112.765



これらの取引からわかること

- 情報収集と事前シナリオの組み立て
- シナリオが狂った時の対応
- エントリーはテクニカルを併用しながら
- 利食いとストップをOCOでセット
- ナンピンは1回だけ、ピラミッディングは自信を持って
- ストップは資金管理を重視

<リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。

お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

<注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生可能性があります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：ヒロセ通商株式会社
業務内容：第一種金融商品取引業
登録番号：近畿財務局長（金商）第41号
加入協会：金融先物取引業協会会員番号1562